

地域を支える福祉人材育成事業

現状

○ 少子高齢化による全県的な介護職員の不足。令和7年度には、約1,600人不足。

※厚生労働省「2025年に向けた介護人材に係る需給推計」より

○ 住み慣れた地域での暮らしを支えるため、自助・共助・公助が求められている。

(1) 県の政策・施策

① まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略 I-2-(1)-③ 介護人材の確保

② おおいた高齢者いきいきプラン 第3章7地域共生社会の推進

第4章2介護人材の確保・育成、3介護サービスの質の確保・向上

(2) 福祉系高校の状況

○ 介護福祉士国家試験合格率 100% (R4)

・ 81名中81名合格

・ 福祉系高校全国平均 84.3%

○ 福祉系就職・進学者数 72名 (R4)

○ 進学者の中には社会福祉士等の資格を取得し

福祉施設や社会福祉協議会等で活躍する生徒も。

求められる人材

○ 少子高齢化における専門的・先進的な知識・技術を持った介護・福祉のスペシャリスト

○ 地域共生社会の実現を目指して、主体的かつ協働的に取り組む人材

取組内容

先進的な知識・技術

地域共生社会

◎福祉先進教育

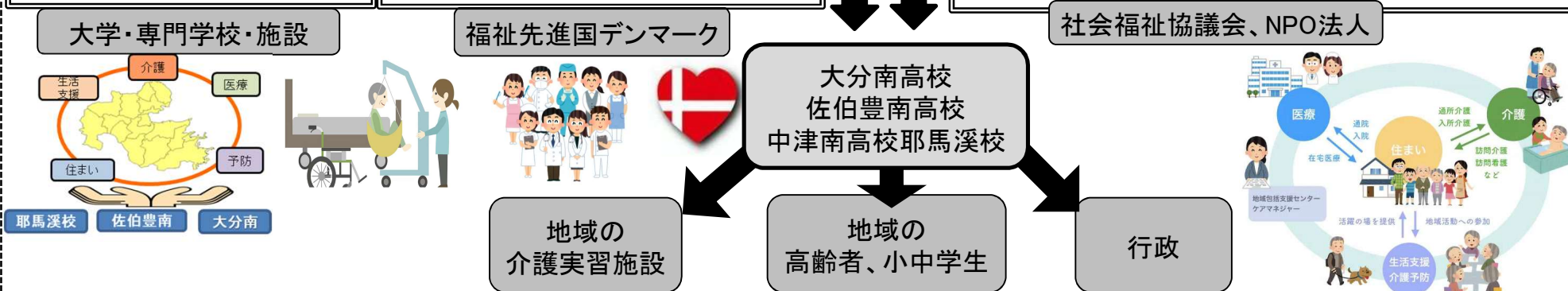
介護ロボットやICT化等を推進している施設・事業所等との連携
○ 介護ロボットやICT等の技術活用による介護の質の向上

◎グローバル福祉教育

福祉先進国とのオンライン交流・報告
○ 国際的な視点で福祉課題に取り組み、福祉の発展に貢献できる人材を育成

◎地域共生社会に向けた福祉教育

地域包括ケアシステム構築を目指す地域の施設・事業所との連携かつ協働的に取り組む態度の育成
○ 地域共生社会を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度の育成



◎地域福祉活動の実践

「高齢者サロン、小中学校での出前授業等の企画・運営」「施設従事者による講習・成果発表・協議」「行政への提言」

○ 地域での実践活動及び成果発表会等を通して、知識・技術の深化と地域貢献意識の向上

◎福祉の魅力発信活動の実践

福祉の魅力発信パンフレットの作成・配布
○ パンフレットを配布することを通して、福祉の魅力の小中学生に発信し、福祉・介護に対する理解の促進

効果・展開

地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う介護・福祉のスペシャリストの育成

○ 福祉系就職者・福祉系進学者の増加 ○ 地域共生社会に向けた意識の醸成